

高温粘性測定装置

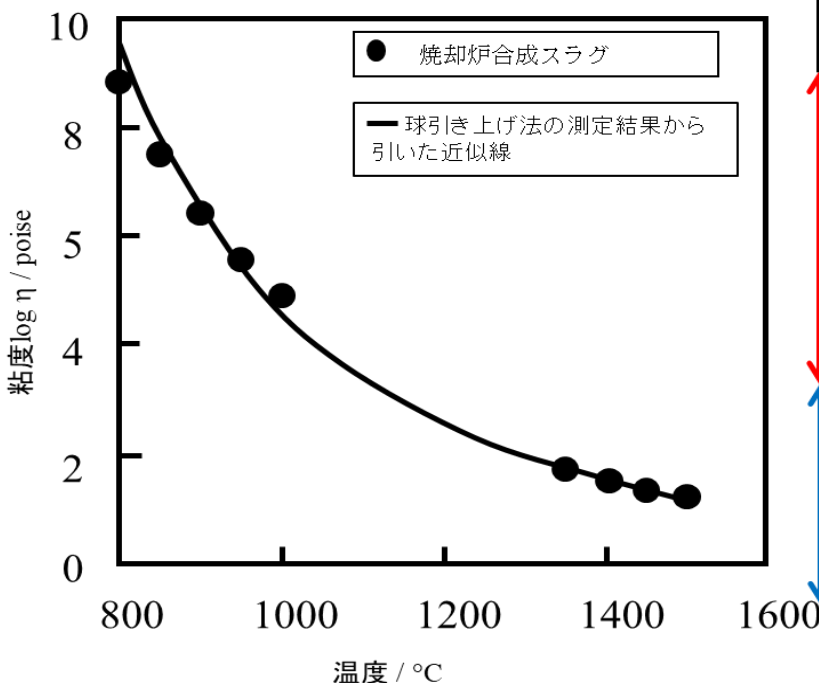
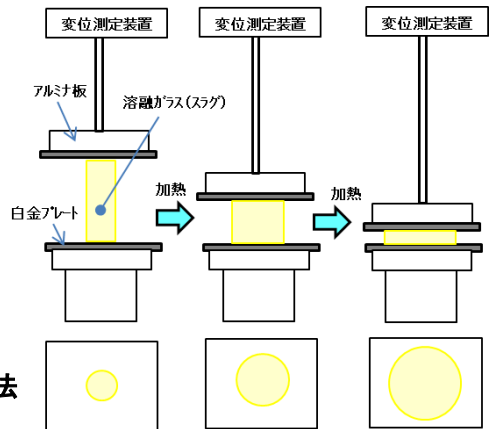
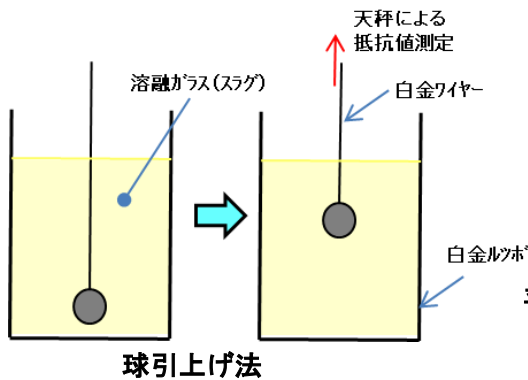


設置年度	2009年度
型式	BMV-13LH0C
製造所	オプト企業
仕様	測定温度： 常用1500℃ 粘度測定方式： 球引き上げ式及び平行平板式 測定粘度範囲： 球引き上げ式： 0.5~10 ⁴ Poise 平行平板式： 10 ⁴ ~10 ¹⁰ Poise 測定雰囲気： 大気雰囲気 加熱炉構造： ガス気流導入可能
用途	熔融スラグの粘性や、材料が熔融スラグ中に溶解した場合の粘性を測定するのに使用する。他、熔融スラグの表面張力及び密度の測定も可能

事例紹介

球引き上げ法： 液体粘度の測定は液中で球体が落下する場合、Stokesの法則に基づいて求められる。本装置では逆に球を引き上げる時の抵抗値を天秤により測定し、それを粘性値へ換算する方法

平行平板法： 円柱状の試料は加熱されると、常に円柱状を保ちながら変形することを仮定し、温度変化と試料高さの変化との関係から粘度を算出する方法



**ビームベンディング法
回転トルク法**
があり、主にガラス転移点測定に用いられる。OCC装置は対応していない。

平行板測定方法
Log(poise)=4-10
の範囲を測定する方法

球引き上げ方法
Log(poise)=0.1-4
の範囲を測定する方法